

え に わ

No. 133

令和8年2月1日 発行



Eniwa
City
council
news

令和7年 第4回 定例会

議決した議案	P2~P4
議案等審議結果等	P4
一般質問	P5~P9
特集! 恵庭市議会の取り組み ...	P10~P11
議会日誌	P12

市議会だより



5期目の市政に向け所信表明する原田市長（令和7年11月27日）

令和7年最後となる恵庭市議会第4回定例会は、11月27日から12月16日までの日程で開催されました。

本定例会では、各会派や諸派から15名の議員が、4日間にわたり一般質問を行い、市執行部に対し活発な質疑を行いました。



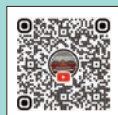
市議会
Instagram



市議会
X



市議会
facebook



市議会公式
youtube



議会初日の様子（令和7年11月27日）

12月
定例会

条例の一部改正や第6期総合計画基本構想など議案22件を可決

◆ 令和7年 第4回定例会を終える ◆

令和7年恵庭市議会第4回定例会は、11月27日から12月16日までの20日間の会期で開催されました。

今議会では、市関係条例の一部改正、一般会計及び特別会計の補正予算や第6期恵庭市総合計画の基本構想についてなど、議案23件が提案され、1件の継続審査を除き、原案通り可決されました。

一般質問は12月2日から12月5日までに15名の議員が質問を行いました。市民から提出された陳情書2件は、所管委員会に付託され、審議の結果、1件は不採択となりました。また、意見書は、2件が本会議で可決され、衆・参両院議長、内閣総理大臣及び各大臣に送付しています。

◆ 一般会計補正予算の主な内容

科目(款)	補正額(千円)	内 訳 (概要)
議 会 費	454	議員期末手当の改定
総 務 費	874,420	全国消費生活情報ネットワークシステム対応端末等の整備、道支出金の減による財源変更ほか
	42,764	人事院勧告に基づく給与改定等
民 生 費	807,052	障がい者支援施設整備に係る事業資金の貸付、高額な補装具の支給増などによる増額ほか
	9,078	人事院勧告に基づく給与改定等
衛 生 費	52,756	調整交付金対象事業費確定のため減額、えにわ・花子さん愛情寄付積立ほか
農 林 水 産 業 費	49,089	麦・大豆生産技術向上事業補助金の増額ほか
	2,565	農業被害対策事業の実施による増額
商 工 費	94,861	信用保証料補給金及び中小企業振興融資預託金の増額ほか
土 木 費	22,363	社会資本整備総合交付金の対象範囲増に伴う事業費調整
消 防 費	△843	調整交付金対象事業費確定のため減額
	578	緊急防災ラジオ普及事業の追加実施による増額
教 育 費	186,153	暖房方式の変更に伴う事業費の増額、小・中学校ワイヤレスインターホンの整備ほか
職 員 費	181,636	人事院勧告による給与改定等
計	2,322,926	

議決した議案

補正予算

▼ 一般会計補正予算(第6・7号)

総務費の「職員管理費」では子ども・子育て支援金の徴収に係る給与電算システムの改修による増額、「庁舎管理費」では本庁舎冷房設置にかかる基本設計の作成による増額、民生費の「高齢者世帯等冬の生活支援事業費」では、灯油価格高騰等に対する低所得世帯への経済支援の実施による増額、衛生費の「予防接種事業費」では、高齢者带状疱疹ワクチン接種委託料の増額及び五種混合ワクチン等の定期接種の開始に伴うシステム改修による増額、「島松水泳プール新設事業費」では、島松水泳プール建替工事に係る外構工事等の前倒し実施による増額、農林水産業費の「有害鳥獣対策費」では、農業被害対策事業の実施に伴う増額、消防費

の「災害対策事業費」では、緊急防災ラジオ普及事業の追加実施に伴う増額など上表の通り、23億2292万6千円が、補正されました。

(6号・7号 全会一致)

▼ 国民健康保険特別会計(第2号)

人事院勧告に基づき職員の給与改定等が実施されること、及び「子ども・子育て支援金」の徴収に係るシステムの整備に伴い、1205万9千円を追加し総額69億9521万8千円となりました。

▼ 後期高齢者医療特別会計(第1号)

人事院勧告に基づき職員の給与改定等が実施されること、及び「子ども・子育て支援金」の徴収に係るシステムの整備に伴い364万6千円の増額補正を行ったものです。

▼ 介護保険特別会計(第2号)

人事院勧告に基づき職員の給与改定等が実施されることから333万8千円の増額補正を行ったものです。

▼水道事業会計（第1号）

人事院勧告に基づく給与改定等に伴い増額するもので、79万2千円の増額補正を行ったものです。

（以上4件 全会一致）

条 例

▼恵庭市体育施設条例の一部改正について

市民の健康増進及びスポーツの普及振興を目的に、市民スキー場のリフト券について、令和4年度から「高齢者3時間券」と「おとな・こどもペア券」について試行販売していましたが、利用者アンケート等から、令和7年度シーズンより本実施に移行し、使用料体系を一部変更する改正を行ったものです。

▼児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

児童福祉法等の一部改正に伴い虐待対応の強化として、保育所等の職員等による虐待に関する通報義務等が創設され、被措置児童等虐待にあたる行為を定めている条項が新設されたことから、関係条例等の改正を行ったものです。

▼恵庭市家庭的保育事業等の設

備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

国の児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部改正により、母子保健法に基づく乳幼児の健康診査の内容が、保育所等の健康診断の全部又は一部に相当すると認められるときは、当該健康診断の全部又は一部を行わないことが可能となったことから、所要の改正を行ったものです。

▼恵庭市高等学校等奨学金支給条例の制定について

学業成績が優良であるにもかかわらず、経済的な理由により高等学校等に就学することが困難な生徒及び不登校等の生徒であって、経済的な理由を抱えつつも、向学心があり、学校復帰への意志を有するものに対し、奨学金を支給することにより、等しく教育を受ける機会の確保に資することを目的に制定したものです。

▼恵庭市火災予防条例の一部改正について

令和7年2月26日に発生した大船渡市林野火災を受けて、消防庁において林野火災注意報や林野火災警報の確な発令等により、林野火災予防の実効性を高めることが必要であるとされたことを踏まえ、火災予防条例（例）を改正したことを

受け、本条例の一部の改正を行ったものです。

（以上5件 全会一致）

▼恵庭市長及び副市長の給与に関する条例及び恵庭市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について

特別職の期末手当について、人事院勧告に準じた内容で改定を行うとの答申により、必要な条例改正を行ったものです。

（以上1件 賛成多数）

▼恵庭市職員の給与に関する条例及び恵庭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

国家公務員の給与と民間給与との較差を解消するため、月例給の引上げを行い、期末・勤勉手当について、民間の支給割合と比較し均等に引き上げ、通勤手当についても、民間支給状況等を踏まえ、引き上げる条例改正を行ったものです。

▼恵庭市特定乳児等通園支援事業の運営基準に関する条例の制定について

令和8年度より新たに創設される「乳児等のための支援給付」に關し、市町村は「給付費に係る事業者」である旨の確認を行うことになっており、確認の基準は、子ども・子育て支援法及び内閣府令に基づき条例で定めることになっており、乳児

等通園支援事業者の運営に関する基準を定める条例の制定を行ったものです。

▼恵庭市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部改正により、文言の整理等所要の調整がされることから、これを反映させるため、本市において当該基準を規定する条例について、所要の改正を行ったものです。

（以上3件 全会一致）

▼恵庭市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

市議会議員の期末手当について、人事院勧告に準じた内容で改定を行うとの付帯意見により、必要な条例改正を行ったものです。

（以上1件 賛成多数）

その他の議案

▼第6期恵庭市総合計画の基本構想について

第5期恵庭市総合計画が今年度をもって終了することから、新しい総合計画を策定することとし、よりよいまちづくり・都市づくりを総合的かつ計画的に推進するための市政の基本方針であり、市民と行政が協働・連

携してまちづくりを進めるための共通の指針として策定したものです。

▼公の施設の指定管理者の指定について（花の拠点）

花の拠点の指定管理者を指定したものです。

- ・指定管理者
株式会社ガーデンシティ恵庭
代表取締役社長 松本 耕二
- ・指定期間
令和8年4月1日～
令和13年3月31日

▼公の施設の指定管理者の指定について（恵庭市宮住宅11団地）

- ・指定管理者
日興美装工業株式会社
代表取締役 宮嶋 秀行
- ・指定期間
令和8年4月1日～
令和13年3月31日

▼恵庭市民会館耐震化等改修工事の内建築工事（2期工事）の請負契約の締結について

- ・工事内容
恵庭市民会館耐震化等改修工事の内建築工事（2期工事）
- ・契約金額
5億9015万円
- ・契約の相手方
恵庭建設株式会社
- ・契約の方法
4者による事後審査型条件付一般競争入札

▼恵庭市民会館耐震化等改修工事の内電気設備工事(2期工事)の請負契約の締結について

・工事内容

恵庭市民会館耐震化等改修工事の内電気工事(2期工事)

・契約金額

2億2385万円

・契約の相手方

榎本・豊原特定共同企業体

・契約の方法

2者による事後審査型条件付一般競争入札

▼和解及び損害賠償額の決定について

中高層建築物の火災において、放水のためのホース接続の誤りにより、地下1階の一部を水損させた事故について、和解及び損害賠償額が決定したものです。

賠償額 3426万1343円
(以上6件 全会一致)

継続審査 1件

▼恵庭市体育施設条例の一部改正について

議員提案により上程された議案ですが、所管委員会に付託され、継続審査となったものです。

報告

▼専決処分の報告について
市役所駐車場に駐車させた公

用車のドアが、駐車中の自動車に接触し、右後部フェンダーを損傷させた事故で、市は公用車のドアの開閉に瑕疵があったことを認め、和解及び損害賠償額が決定したものです。

賠償額 11万8916円
(以上1件 全会一致)

陳情

不採択 1件

▼介護保険制度改正に向けた意見書の提出を求める陳情書
(以上1件 賛成少数)

委員会付託 1件

▼OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情書

意見書

可決 2件

▼太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書

▼脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書
(以上2件 全会一致)

議案等審議結果

※この表は賛否が分かれた案件のみ掲載し、議員名は議決番号の順番となります。

議決年月日	議員名等 議案名等	議決結果	市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会		
			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会			市民と歩む会		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
			川原光男	武藤光一	三上まどか	矢野浩章	吉永孝之	早坂政芳	小林卓矢	太田実保	石井美季	宮利徳	前田孝雄	澁谷敏明	柏野大介	新岡知恵	市川慎二	小橋薫	長谷文子	川股洋一	松島緑	生本富士代	野沢宏紀

第4回 定例会に付された議案

12/16	介護保険制度改正に向けた意見書の提出を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	恵庭市長及び副市長の給与に関する条例及び恵庭市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	恵庭市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

凡例：議……議長 ○……賛成/採択/可決 ×……反対/不採択/否決

常任委員会行政視察

恵庭市議会では常任委員会や特別委員会が隔年ごとに先進地視察を実施しています。恵庭市議会ホームページに行政視察報告書を掲載しています。
(R8.2月時点においては厚生消防常任委員会視察報告掲載)
QRコードから、タブレットやスマートフォンでご覧いただけます。



総務文教常任委員会 令和8年1月14日～16日

- 大阪府富田林市「大阪府立富田林中学校・高等学校における富校版コミュニティ・スクールの取組について」
- 大阪府柏原市「柏原市立歴史資料館における古墳出土品及び展示企画の取組について」
- 兵庫県加古川市「加古川市版デンティムについて」

●宮委員長、松島副委員長、川股委員、矢野委員、柏野委員、武藤委員

厚生消防常任委員会 令和7年11月4日～6日

- 千葉県印西市「子育てコンシェルジュについて」
- 茨城県水戸市「就労支援事業所水戸市リサイクルセンターについて」
- 東京都武蔵野市「武蔵野市介護人材確保・定着給付金について」

●新岡委員長、吉永副委員長、長谷委員、前田委員、早坂委員、生本委員、太田委員

経済建設常任委員会 令和8年1月19日～21日

- 佐賀県佐賀市「商店街活性化・わいわい!コンテナ2について」
- 佐賀県鳥栖市「産業団地(仮)ザサン鳥栖クロスパークについて」「ホームタウンスポーツと協働したまちづくりについて」
- 福岡県筑後市「HAWKSベースボールパーク筑後における経済活性化について」

●野沢委員長、三上副委員長、川原委員、小橋委員、石井委員、澁谷委員、小林委員



市民と歩む会
新岡知恵 議員

教育委員会について

問 教育委員会は、地方教育行政を根拠として、首長が議会の同意を得て任命した教育長及び4名の教育委員で構成されます。教育長以外の委員は非常勤の公務員であるため、日常的な事務作業は、市役所内にある「教育委員会」があたります。教育行政における重要事項や基本方針を決定する権限は、教育長と4名の教育委員に付与されます。公教育の基本理念実現のためには、教育委員会の機能を高めていくことが求められますが、考えを伺います。

答 様々な知識や経験を持つ教育委員の多様な意向を反映させながら、市民に寄り添った教育行政に取り組みたいと考えています。

問 教育委員会が本来の機能を発揮するには、教育委員が事務局と対等に協議することが重要ですが、教育の専門家と言うのは実際のところ難しいと考えます。前提として持つべき知識や法律については、事前に説明し理解してもらうことが必要ではないでしょうか。

答 年5回程程度の研修のほか、学校訪問や学校課題研究発表会への案内などもしています。また、事務局で得ている情報等も、今後丁寧に教育委員会へ提供していきたいと考えています。

問 小中一貫教育については、外部検討会議での検討結果に、教育委員会が最終的に承認を与えますが、その議論内容を理解しなければ可否を判断できません。外部検討会議へ参加するなど、積極的に教育委員が関わる取組が必要ではないでしょうか。

答 外部検討会議は、広く開かれ様々な立場からの意見を聴取するという趣旨から、あえて外部の方々にお願いをしており、教育委員には事務局を通じて、議論の状況が報告されています。

問 市民に小中一貫教育を理解してもらうことが重要。保護者説明会を実施するべきではないでしょうか。

答 教育委員会から理解啓発にも努めるよう指示があり、今後作成する保護者、地域住民向けのリーフレットの活用とも併せながら、検討しています。特に、中学校区の児童生徒数の推移など、状況が異なることを的確に踏まえた対応が必要になると考えています。

◆その他の質問項目
私たちのつどいについて、多文化共生について



市民と歩む会
柏野大介 議員

ゼロカーボンシティの実現について

問 恵庭市ではゼロカーボンシティを宣言し、温室効果ガス削減に向けた取組を進めています。区域内における進捗、直近の実績とその要因、今後に向けての課題について伺います。

答 「ゼロカーボンロードマップ」に基づき施策展開しており、現在、事業者向けの取組として、温室効果ガス排出量の見える化事業を推進しているところです。

問 直近のデータでは、どのくらい温室効果ガスの削減が進んだのか。

答 ロードマップ中では、目標数値達成するような見込みとなっており、目標数値をクリアいたしますので、毎年3.4%二酸化炭素が減るような形で推移している。

問 直近のデータ2022年では、2013年と比べて27.6%減らさなければいけないところ、現状は削減率20%にとどまるのでは。わかりやすい形での進捗報告が必要では。

答 環境省から公表される二酸化炭素排出量のデータ、特に自治体カルテについては、今後、委員会では報告はしていきたい。

問 ロードマップでは、施策の検証見直しに向けた検討を行う時期とされている。どのような見直しを検討されているのか。



ゼロカーボン実現のイメージ

答 これまでの取組は二酸化炭素排出量の実態把握に重点を置いていたが、今後は削減に向けた取組も必要でないかと考えている。

問 今後はより小さな業務部門、運輸部門に向けた、具体的な削減の取組が必要ですが、基金を活用し、事業者の負担を大幅に減らすような形でモデル的な補助事業、脱炭素に向けた補助事業というものが必要ではないか。

答 産学官作業部会の中で検討していきたい。

◆その他の質問項目
市長の政治姿勢について、会計年度任用職員の処遇改善について、持続可能な除雪体制について



民主・春風の会
瀬谷敏明 議員

生成AIなどのデジタル活用について

問 本市における生成AIの導入及び利活用の現状について伺います。

答 本市では令和5年度から生成AIの試行運用を開始し、これまでに4種類のサービスを利用し、比較検討を続けています。

現在も試行運用を継続しているところであり、様々な部署で議事録作成支援や文書校正、要約等に活用しています。

問 生成AIの利活用にあたっての課題を伺います。

答 試行運用で課題を明らかにしたいと考えており、これまでにセキュリティ上の課題は生じていませんが、効率的な運用方法の確立や費用対効果の検証、ガイドラインの作成などの検討が必要と考えています。

問 今後どのような業務に生成AIを活用できる考えなのか伺います。

答 具体的な対象業務の選定については、各部署の利用実績や効果検証の結果を踏まえて整理していくという考えで、文書作成、校正、要約、

議事録作成支援、あるいは住民向け案内やよくある質問であるFAQの草案作成、調査、情報整理といった分野から段階的に活用を進めることが効果的だと考えています。

問 生成AIを積極的に利活用することによって生み出される効果を伺います。

答 生成AIは職員の判断と最終確認を前提とした業務支援の補助ツールであり、一般に言われる導入効果としましては、文書作成校正要約や議事録作成支援等における作業時間の短縮、表記や構成の標準化による品質の安定、調査・情報整理やFAQ草案作成の迅速化による情報発信のスピードの向上、さらには自由記述の分類など前処理支援による分析業務の高度化といったことが挙げられます。

問 生成AIを導入利活用にあたって、生成AI利用に関する指針や職員向けのマニュアルなどのルールづくりを策定する予定はあるのか伺います。

答 出力内容の検証、生成AIの命令文の作成方法、並びに個人情報取り扱いを含むセキュリティ要件を主要項目として盛り込んだ生成AI利用ガイドラインといったものを本年度末までに策定する予定です。

◆その他の質問項目
在宅勤務について、フレックス制度について、こども誰でも通園制度について、保育認定の現状について



自由民主党議員団
藤原会
としのり
宮 利徳 議員

新市街地整備の進捗と今後の展望について

問 新市街地の整備について、戸磯地区、上山口地区、西島松地区それぞれの進捗状況と今後の展望について伺います。

答 戸磯地区については、サッポロビール庭園駅を核としたエリアの段階的な開発の検討に必要な調査として、土地所有者の把握及び土地所有者の意向確認のほか、半導体関連企業の立地動向調査に取り組んでいます。

今後は、当面の立地需要面積を整理するとともに、サッポロビール庭園駅周辺の土地利用を検討してまいります。

上山口地区については、商業系の土地需要への対応を見込んでいますが、具体的な需要が明らかになった段階で、その実現に適した手法について検討することになっています。

西島松地区につきましては、一体的な市街地開発の検討に必要な調査として、補償調査などを実施しています。今後は、一体的な土地の取得に向けた地権者協議を進めてまいります。

問 西島松地区の土地取得について、昨年、土地開発基金を設置して10億円の基金を積み立てましたが、この基金で対応するのは、土地取得費だけなのか、あるいは今検討している補償費も含まれるのか伺います。

答 土地開発基金で対応しますのは、土地取得費のみで、補償費は含んでいません。

問 土地取得費については取得する土地の単価と面積はそれぞれどのように決定しているのか伺います。

答 土地の単価については、これまで市が土地の売買を行う際には、過去の取引実績や、不動産鑑定による客観的な評価などに基づいて価格を決定しており、今回の新市街地整備においても、これを基本とし決定したいと考えています。

取得する土地の面積については、現在行っている補償調査や、今後の地権者協議などの結果を踏まえ、地権者の皆様に開発についての同意をいただいた上で、事業の範囲や面積を決定してまいります。

◆その他の質問項目

原田市長の5期目に当たったの抱負について、メタバースを活用した不登校児童生徒への支援について



自由民主党議員団
藤原会
よしなか たかゆき
吉永孝之 議員

駅利用者と市民全体の移動困難を踏まえた乗合タクシー制度の導入の検討について

問 恵庭市内ではタクシー不足が深刻化しており、駅へのアクセスや歓楽街からの帰宅手段が確保できない、いわゆる「タクシー難民」の声が多く寄せられています。現状と課題について伺います。

答 市では具体的な調査はしていませんが、市内の飲食店や商業団体などから、特に忘年会、新年会シーズンの金曜・土曜の夜にタクシーがつかまりにくいとお聞きしており、市内3駅においても同様の状況であると考えています。

問 移動手段の確保は市民の生活に直結する重要な課題です。悪天候時や夜間は電話が繋がらない状況が発生し、駅からの帰宅や通院、買い物、日常生活に支障をきたしています。市の認識を伺います。

答 タクシー会社によると大雨や大雪などの悪天候時や曜日によっては、夜間につながりにくい状況とことで、タクシーアプリによる受付が行われています。ただ、アプリを利用していない利用者には不便が生じていると認識をしています。

問 乗り合いタクシーは1台のタクシーで複数乗れます。JR発着の乗り合いタクシーを補助制度の活用、民間事業者との協力によって、実証実験などの制度を構築する可能性があるのかどうか伺います。

答 今後、地域の状況やタクシー事業者、恵庭市地域公共交通活性化協議会などの意見を踏まえ、試験的に実施することになった場合は、補助制度等の活用も視野に入れないがタクシー事業者等と実証運行を行う可能性はあるものの、実証運行を行う際には、運行方法、運行地域、運行日時、料金、平等性など様々な視点での検討が必要であると認識しています。



乗合タクシー

◆その他の質問項目

防災資材の安全かつ効果的な保管体制の整備について、土砂災害に備えた関係機関との連携体制について、今後のエゾシカの対策計画について、外国人住民への公共交通案内の多言語対応とエコバス乗継制度の周知強化について



自由民主党議員団
藤原会
みき まこ
三上まどか 議員

第3期恵庭市人材確保計画の進捗状況について

問 合同企業説明会について伺います。

答 本年度は2日間で開催し延べ58社が参加し132名に会場していただきました。

参加企業からは、雇用条件や業務内容などを「来場者に直接説明することができた」と高評価をいただき、今後は採用状況について確認を行い、年度末を目標に結果を取りまとめたいと考えています。

問 外国人人材採用支援セミナーについて伺います。

答 市内の外国人採用を検討又は関心のある企業を対象に、採用に関する基礎知識や留意点、各種手続き方法、助成金などを紹介する内容で、市内の企業12社から14名に参加いただき、本年度初めて実施しました。「もう少し長い時間でもよかった」「実際に雇用されている外国人労働者の声が聞きたい」といった意見をいただきました。

問 女性デジタル人材育成事業について伺います。

答 女性の長期的な経済的自立を目指すため、デジタルスキルを身につけた人材を育成し、就労につなげることを目的として本年度から実施し、全10回の講座を開催、アンケートでは、殆どの参加者から「講座内容に満足した」との意見をいただきました。今後、参加された方に、その後の就職状況について調査を行い、年度末を目標に結果を取りまとめたいと考えています。

◆その他の質問項目

恵庭駅前エリアマネジメントについて

問 従業員の資格取得支援事業については、課題を整理しているとのことでしたが、現在市内のタクシーやバス、トラックのドライバーが不足しているという声があります。まずは試行として、ドライバー不足に対応する支援を実施し、制度の課題を、整理する方法がとれないか所見を伺います。

答 現在物価高騰や人材不足により、市内の中小企業等の人材育成の支援や雇用の安定化、企業の経営基盤の強化を必要とする状況の中、市内の中小企業等の従業員の資格取得について支援を行うことは必要であると認識をしています。喫緊の課題であるドライバー不足に対応した支援についても、市としては何らかの施策を講じる必要があると考えていることから、令和8年度から、モデル事業として、実施する方向で検討したいと考えています。



河川区域の維持・管理について

問 恵庭市内の清らかな川の流れば、市民生活に潤いと安らぎをあたえてくれます。河川緑地の定義・目的及び国または道に整備された施設について伺います。

答 河川緑地は、河川区域内にある緑地であり、恵庭市が、国や北海道から占用許可を受け、親水性に溢れた水と緑の癒しの空間の創出を目的とした噴水や水路のほか、遊具やあずまやなどの施設を整備しています。

国や北海道では、川の流れの調整や洪水などによる災害防止のため、堤防や護岸などの河川管理施設の整備を行っているほか、花の拠点かわまちゾーンなど河川空間を活かした賑わい創出のため、遊歩道や親水空間などの整備も行っていきます。

問 漁川河川緑地には、噴水、遊具などがありますが、今年は噴水の水が出なかったり、遊具は使用禁止となっており、地域の人々や子どもたちが大変がっかりしていました。その周知はどのようにされていたのか伺います。

答 老朽化等によって破損した施設は、補修または使用禁止措置を行い、事故等の未然防止に努めています。市民周知は、現在、公園台帳や公園カルテなどを活用して、ウェブ上に生成AIを活用した公園コンシェルジュ機能をつくり、公園利用者が24時間365日、公園に関する問い合わせが可能となる取組を進めています。



冬の恵庭岳と漁川

問 公園緑地の樹木や落ち葉などの維持管理の現状について伺います。

答 令和6年度から都市公園公共緑地等指定管理において、住区基幹公園の全ての公園樹に対しナンバリングを行ってまいります。

現在、その樹種や総数の把握をしながら維持管理を行っています。

落ち葉などの維持管理では、落葉時期に合わせて、幹線道路を中心に路面清掃を行い、ボランテア清掃にご協力いただける市民や団体にボランテア袋などを配布し、清掃や集積を実施していただいています。

◆その他の質問項目



SNSを活用した情報発信について

問 公式YouTubeチャンネルの現状と課題について伺います。

答 市政に関する情報について、テキストや画像などでは伝えにくい多様な行政の取組などを、市民に対し動画を用いて「わかりやすく、かつ効率的」に伝えることを目的として開設しています。認知度向上や訪問意欲の喚起を図るためのシティブロモーションなど、多様な情報の提供を図ってきておりますが、動画制作には、企画力に加え、撮影・編集など高度なスキルが求められ、公的機関が発信する情報として、公平性や正確性を確保するチェック体制、これらに加えて情報公開のあり方に関する方針などの整理についても、取り組むべき課題であると認識しています。

問 現在まで公開された動画について、どのような手法で制作され、どのような効果があつたのか伺います。

答 各所管において、動画の企画力、撮影、編集技術などの必要なスキルが身に付いている職員が制作する場合と、そうした職員がいないといっ

た場合については、委託事業として制作している状況にあります。

成果指標である再生回数については、一定程度あることから、各所管が動画により公開した効果はあつたものと考えています。



恵庭市公式 YouTube

問 時代が変わり、若い世代を中心にSNSでの情報が求められるほか、年配の方も利用される割合が多くなつてきています。

更にその需要は加速していくものと感じており、YouTubeを活用し出前講座などを動画で伝えるなど、積極的に気軽に活用していただきたいと思っています。

現状では、正確で的確な動画配信の体制がまだ整っていないという点なので、今後、体制を整えたいと願っており、改めて動画配信のあり方について伺います。

答 動画配信に係る様々な課題を踏まえながら取組を進めていく必要があると認識をしています。

◆その他の質問項目



島松駅周辺の駐車場について

問 市営駐車場は現在、新複合施設建設工事の影響で駐車台数が少なくなつていますが、完成後も工事開始前より若干少ないようです。

駐車場の不足は、迷惑駐車を誘発し、事故やトラブルの元にもなりかねません。

市民が気軽に立ち寄り、安心してこの地域の様々な施設を利用するためにも駐車場の適切な台数を確保することは喫緊の課題であると思います。市民のための駐車場等について、考えを伺います。

答 島松駅横駐車場は、島松複合施設の建設工事に伴い、駐車台数が109台から53台に減少しており、工事完了後も一部が複合施設の敷地として活用されることから、82台になる予定です。

駐車台数の減少に伴い、利用者の利便性の低下を最小限にするよう指定管理者と検討を行っており、近隣に月極駐車場を14台分整備し、利用を開始しているところです。

現在、更なる駐車場の拡大に向け、指定管理者と協議しています。

問 定期券の再販売の予定はあるのでしょうか。

答 島松複合施設工事完了予定の令和9年春頃より販売を再開する予定で、指定管理者と協議をしています。



島松複合施設建設現場

問 島松駅周辺の民間事業者などに協力をしていただき、例えば土日など、夢創館や新しくできる複合施設でイベントが開かれるときや近隣駅のイベントなどが重なったりするときに、駐車場をお借りするような方法は考えておられるのか、所見を伺います。

答 現在、指定管理者によって月極駐車場を整備していますが、ほかの島松駅周辺の民間事業者や個人が所有する駐車場や空き地についても交渉や調整を継続しています。

賃貸料や駅からの距離などが、交渉がまとまった場合には駐車場として利用してまいりたいと考えています。



自由民主党議員団
翡翠会
かわ また よう いち
川股 洋一 議員

野生鳥獣の被害とその対策について

問 鹿やアライグマによる被害や盤居地区のみならず市街地に近い場所での熊の痕跡が確認されるなど、市民生活に及ぼす影響が身近に迫ってきています。被害状況把握について伺います。

答 アライグマの捕獲や処分に関しては業者に委託しており、当該駆除業者からの報告により件数などを把握するとともに、その他の鹿やキツネなどの野生鳥獣に関しては、市民からの通報などにより状況を把握しています。

問 恵庭市が保有するわなの状況について伺います。

答 アライグマのわなの台数は36台で委託事業者が、貸出しを希望する方の自家農園などにわなを設置し、捕らえたアライグマの回収も行っています。

問 ガバメントハンターの必要性について伺います。

答 ガバメントハンターは、自治体職員で狩猟免許を持ち、野生鳥獣の管理や捕獲を専門的に行う人材で、高齢化などにより猟友会のハンターが不足し、被害対策が困難な

現状にあつて、ヒグマ対策の有効な手段の一つだと認識しています。

問 夜間銃猟も実施できるプロのハンターを、ガバメントハンターとして採用する必要があると考えますが、所見を伺います。

答 採用した場合であつても、猟友会の協力が必要であり委託契約の継続は必須であると考えられ、ヒグマ対策を行うに当たり、どのような制度を活用しどのような体制を構築することが、効果的なのか検討する必要があると考えています。



市街地を疾走する牡鹿

問 肝心のわながない、足りないのであれば、ヒグマ用の箱わなを増やすことも検討しなければならぬと思います。考えを伺います。

答 今年度、本市でヒグマの目撃情報が多数寄せられて、盤居パークゴルフ場付近でヒグマが確認され、1頭捕獲しています。

箱わなは受注生産で高額であり、保管場所の確保も必要となり課題もありますが、複数所有することが望ましいと考えています。

◆その他の質問項目

行政に対する市民の声の集めかたについて、島松のまちづくりについて



公明党議員団
の ざわ ひろ き
野沢 宏紀 議員

文化創造都市の構築について

問 第6期恵庭市総合計画の策定を進める中で、これからの恵庭の未来像として「文化創造都市」との位置づけがなされています。今後、「文化創造都市」の構築を、どの様に進めるのか伺います。

答 本市のまちづくりは、これまで多くの市民の方々が地域に根差した様々な取組を主体的に進めるとともに、まち全体に広げてきたものと考えています。

こうした長年の活動を通して、市民たちが育んできた「花のまち」や「読書のまち」などの取組が、本市の文化となり、内外にそのイメージが定着したことは、貴重な財産として、今後のまちづくりへ継承されていくべきものと考えています。

令和8年度から始まる「第6期恵庭市総合計画」策定にあたり、多くの市民参加のもと、本市の豊かな自然や歴史、これまで培ってきた特色ある文化をはじめ、近年の本市を取り巻く状況の変化を見据え、スポーツを通じたまちの振興や芸術文化など、将来のまちの姿について、数多くの

の熱意あるご意見が出されたところです。

本市の今後のまちづくりは、本市がもつ豊かな自然や歴史のほか、これまで築きあげてきた有形・無形の文化をまちづくりの核として生かしつつ、まちづくりの重要な資源として再認識するとともに、北海道文教大学地域創造センターが展開しています「文化創造都市プロジェクト」などの研究を参考にしながら取り組んでまいります。



第6期恵庭市総合計画

また、スポーツを通じて人が集い、夢や希望をもち熱意や感動を分かち合うことによる連帯感の創出をはじめ、感性や想像力を刺激する文化に触れる空間の充実など、世代を超えた市民交流の機会が生み出されるといった、新たなまちの資源となり得る取組を積極的に進めて、市民一人ひとりが、自分のライフスタイルを実感できる快適で住みやすいまちと感じられる「文化創造都市えにわ」の実現を目指してまいります。

◆その他の質問項目

「文化・芸術振興条例」の制定について、特定健康診査受診率向上対策事業について、高齢者健康増進助成券事業について



公明党議員団
まつ しき みどり
松島 緑 議員

ごみ処理にかかる現状と課題について

問 恵庭市一般廃棄物処理基本計画では、ごみ発生抑制・資源化の取組を進めています。資源化の進捗状況や課題を伺います。

答 本市では、全道・全国の平均値と比較し、1人1日あたり家庭ごみの排出量は少なく、リサイクル率は上回っています。更なるごみの減量・資源化を推進するため、市民・事業者の廃棄物処理に対する意識醸成や行動変容を促すことが重要であるほか、リサイクルセンターの老朽化対策や整備などが課題です。

問 紙おむつリサイクルの考え方について伺います。

答 一般廃棄物として適正に焼却処理できている現状です。リサイクルを行う場合、施設の整備や処理ルート確保のほか、新たな分別負担の発生や収集経費の増加など課題も多く、本市においては、現状、紙おむつリサイクルは困難であり、現在の処理体制を継続することが適切と考えています。

災害防に関する本市の現状と課題を伺います。

答 本市でも、ごみ処理施設や収集運搬車で危険物混入が原因と思われる火災が発生しており、本年度も5月にごみ処理場で破砕作業中に堆積物から白煙が発生し10月には焼却施設のビッド内でごみの一部が発火、施設に配備されている放水銃で消火した事案などが発生しています。スプレー缶やカセットボンベなどは中身を使い切った上で「キケンごみ」とし、リチウムイオン電池などは「資源物」として分別区分し、「燃やせるごみ」に混入しないよう周知・啓発するなど火災発生リスクの低減に努めていますが、分別が徹底されていないことが課題です。

問 火災等事故防止に向け、焼却施設や収集運搬車両火災事故が起らないための対策を伺います。

答 各施設とも建物には火災報知器や消火器等の消防・消防設備が配置されています。焼却施設では、放水銃、盤居のごみ処分場では、防火水槽を設置しているほか、監視カメラを設置し火災の発生を監視しています。パッカー車で火が出た場合は、消火器を備えており、火を消せる体制をとっています。

◆その他の質問項目

恵庭市住生活基本計画について



公明党議員団
いくもと ふじよ
生本 富士代 議員

介護支援ボランティア
ポイント事業について

問 高齢者がボランティア活動を行い、様々な方と関わり支え合う事を目的として始めたこの事業は来年で10年目となります。

健康寿命の延伸等、高齢化社会の変化に応じた制度の拡充について伺います。

答 市では、令和9年度を始期とする「第10期恵庭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向け、一般高齢者等を対象に実施している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」において、本事業に関する設問を設けています。

今後の調査結果について、実態把握や分析を行うことにしています。

問 ボランティア活動を行うサポーターは、一年間で50ポイントまでは貯められますが、年間でも100ポイントを超える方もおられると仄聞しており、ポイントの上限枠を上げて欲しいという声を聞いています。

答 本事業は、介護予防事業として高齢者の介護支援ボラ
ンティア活動を推進するほ

か、要介護及び要支援状態の高齢者に対する地域での日常的かつ主体的な支え合いの育成及び支援が目的です。厚生労働省の手引きでは、「報酬を得ることのみが目的化することなく運営する」とあり、「第10期恵庭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定の中で、事業の在り方を検討してまいりたいと考えています。



恵庭市介護支援
ボランティアポイント事業
のチラシ

問 ポイントの対象者は、介護保険第1号被保険者の65歳以上の方で、国の地域支援事業交付金が活用されています。サポーターの中には、65歳以下の方や50代の若い方が運営を担っているところもあり、貴重な担い手だと思われませんが、対象年齢枠を下げることにしています。

答 本事業は介護保険制度を活用し、元気な高齢者によりまず介護予防、活動の支援や担い手育成を目的として実施しています。

付与対象者の拡大については、財源をはじめ、事業の主旨や目的などを再構築する必要があると考えています。

◆その他の質問項目

高齢者の難聴対策について、地域包括支援センターについて



諸 派
こばやしたく や
小林卓矢 議員

本市の防災に対する取り組みや連携について

問 地域版避難所運営マニュアルについて、全ての地域で策定されているのか、これに基づいた研修、あるいは訓練など、現状どのようなになっているのか伺います。

答 市内小学校区としては、全8校区中5校区で策定をしています。マニュアルに研修や訓練の具体的な定めは、書かれていませんが、各学校での1日防災学校や自主防災組織が実施する防災訓練などの中で、地域版避難所運営マニュアルが活用されています。

問 災害時には、市民以外からのボランティアなどの協力もあると考えますが、災害発生時のボランティアの受け入れや、避難所への派遣、ボランティアに対する調整など、どのようになっているか伺います。

答 大規模災害等の発生によりボランティアを受け入れる事態となる場合は、双方の協議を経て、社会福祉協議会が恵庭市福祉会館に恵庭市災害ボランティアセンターを設置し、運営することとしており

ます。被災者ニーズへの対応、ボランティアのコーディネートなどの業務を行うほか、ボランティアセンターの設置運営を円滑に行うため、平時から災害ボランティアセンター連絡会議を設置し、社会福祉協議会のほか、災害中間支援組織として恵庭青年会議所、まちづくりスポーツ恵み野が参加し、情報共有等を行っています。

問 数年前の胆振東部地震の際に、安平町の認定ことも園では、ボランティアを募った際、スマホなどのアプリを活用し、内容や日程を示し募集していましたが、本市でも同様に準備されているのか伺います。

答 恵庭市社会福祉協議会によると、Kintoneは、北海道社会福祉協議会が令和5年度に導入しており、道内で災害が発生した場合は、市町村で設置されている災害ボランティアセンターに対し、無償でアカウント提供を受けられる体制となっています。

※Kintoneとは
サイボウズ社（株）が作成した全国の企業・官公庁・社協等で活用される業務改善サービスで、その機能を応用して災害対策のIT化を支援する「災害支援プログラム」を提供しています。

◆その他の質問項目

いじめ問題・不登校について、除排雪および冬季間の市民生活の支援について



諸派
おおたみほ
太田実保 議員

学童クラブについて

問 学童クラブの運営の現状と課題について伺います。

答 本市が設置する学童クラブは、地区会館、小学校の余裕教室や旧管理者住宅などの施設を活用し、市内20か所で実施しています。

令和7年4月1日時点の登録児童数は767名となっており、市内小学校の全児童数の約22パーセントが登録している状況です。

共働きの世帯の増加に伴うニーズが高まり、対応できる学童クラブ支援員、必要な実施場所の確保など、運営体制の維持が課題だと考えています。

問 長期休み学童預かり事業について伺います。

答 本事業は、自宅で留守番をすることが難しい小学校低学年の保護者等のニーズに対応するため、令和6年度より小学校の長期休業期間限定で児童をお預かりする事業として試行的に開始しました。

一定の利用ニーズが把握できたことから、次年度から本格実施へ移行できるよう、事業継続に必要な条件や課題の整理などについて、現在検討を行っています。



答 今年度も試行で実施している中で、支援員や実施場所をどう確保するのか、安全な企画運営、衛生管理も課題になつてくると考えています。

今年度試行で実施している事業者とヒアリングを行い、来年度の本格実施に向けて、現在検討しています。

問 長期休み学童預かり事業は、令和8年度から本格実施への移行を検討中ですが、本格実施する上での課題はどのようなものがあるのか伺います。

問当初この事業は低学年を想定していたことに対して、高学年にも一定のニーズがあると認識されたので、対象年齢の拡大や、ニーズの多様化を検討する上で、重要な実績であると考えますが、保護者からの要望等が届いているのか伺います。

答 今年度の試行に際し実施した利用者アンケートでは、「とても助かりました」「これからも続けてほしい」といった、事業継続を希望する意見を多くいただいています。

一方では、利用料金について「少し高いのではないか」というご要望もあったところがあります。

◆その他の質問項目

交通安全指導について

特集！ 恵庭市議会の取り組み

中学生と考えるまちづくり

11月17日、柏陽中学校3年生が総合的な学習の時間で取り組む「100万人プロジェクト」に恵庭市議会へお声がかかり、参加させていただきました。

「100万人プロジェクト」とは、授業の一環として、恵庭市にとって100万人が関わるまちになるためには、どうしたらよいかを生徒たちが考え、提案を通してふるさとの関心を持ち、自治や社会参画について学ぶことを目的にしているそうです。

1時間の授業の中で、クラスごとに数名の生徒が「恵庭市をよりよくするための提案」をスライドにまとめたものを発表し、その提案に対して、私たち議員が議員の視点からアドバイスをさせていただきました。

今回は学校からのお声掛けで実施しましたが、中学生らしい率直な提案ばかりで、恵庭市議会としても、中学生と一緒にまちづくりについて考える貴重な経験となりました。

○提案の目的

- ・恵庭市の可能性を広げ、更に魅力を増やす
- ・恵庭市をより便利で明るいまちにする

⇒「えにわ」を
100万人以上が関わるまちに！

恵庭と札幌の良さの比較

恵庭市の良いところ	札幌市の良いところ
①自然が豊か	①商業施設が多い
②アクセスが良い	②都市が発達している
③子育て支援の充実	③教育機関の充実

恵庭の課題点

恵庭市最大の課題点は急激な高齢化

恵庭市の人口は約70,000人
の高齢者の人口は約20,000人

そのうち
人口の28%ほどが高齢者で、4人に一人

このあとも高齢化は進むと予想されている



<参加した議員の感想>

- 100万人プロジェクトは恵庭のまちをどのように発展させ、また活性化させるのかを考えて発表する大変に良い企画と感じました。
- 生徒たちからの提案を聞き、何とか実現出来る方法がないかといった気持ちになりました。
- 提案の中で、市としてどのようなことが実現でき、どの様なことが難しいのかなど短時間で伝えるのは難しく、今後機会があれば、事前に生徒達とワークショップなどで情報共有しながら、恵庭のまちづくりについて一緒に考えることで、生徒たちの学びも深まり更に良い提案となるのではないかと感じました。
- 今後、主権者教育の一つとして議会としても取り組んでいけると良いのではと感じました。



議場から始まる恵庭のまちづくり

恵庭市議会では、議会への理解や関心を深めていただく取り組みとして「議場コンサート」を開催しています。どなたでも気軽に傍聴できる環境を整え、令和4年の試行実施からこれまでに15回を数えました。

また、議場には「恵庭市議会文化芸術回廊」を併設し、市民の皆様による絵画や写真、書道、パッチワークなどを展示しています。議場見学も随時受け付けていますので、ぜひお気軽に足をお運びください。

市民の皆様の声を聴かせていただくことは、将来のまちづくりを考える上での大きな財産です。議場という場所を身近に感じていただくことが、市政への関心を高めるきっかけになればと願っています。

市議会を傍聴してみませんか。

本会議、委員会はどなたでも傍聴できます。

議場には57人分の一般席と3人分の車椅子席が設けられており、昇降機が設置されているので車椅子のまま傍聴席へ移動できます。



ハラスメント根絶に向けた実践的研修を実施



恵庭市議会では、議員間あるいは議員と職員間でのハラスメントの抑止・根絶を目的に、令和5年9月に恵庭市議会ハラスメント根絶特別委員会を設置しました。以来、ハラスメントに関する動画視聴や外部講師を招いた研修、議員同士のワークショップなどを実施し、ハラスメントに関する知識を学ぶとともに啓発に取り組んできました。

今回の研修では、議員自らが演者となり、他の議員の質問に対する威圧的な妨害行為、窓口での長時間職員拘束や良い答弁の強要、育児休暇制度利用を希望する職員への阻害言動、性自認や性的指向に関する発言など、他自治体で過去に起こったパワハラ、SOGIハラ、マタハラを含む5つの事例を再現しました。それぞれの事例に対し、グループ毎にハラスメントの認知と防止対策、議員と職員の心の距離の測り方、権限の違いなど、様々な角度から考察・討論を行いました。

議員と職員は、一般企業とは異なる特殊な関係性ですが、決して上下関係ではなく、対等な立場であることを深く認識することが重要です。職員の業務範囲を超える要求や不当な圧力をかけないように、今後も心掛けてまいります。

令和7年12月16日
恵庭市議会ハラスメント根絶特別委員会
ハラスメント研修会

恵庭市議会議場コンサートを開催しました

令和7年第4回定例会の議場コンサートは、恵庭市立柏陽中学校合唱部7名の皆様でした。

チームワークの取れた歌声で「明日のために」と「君をのせて」の2曲を披露され、市民40名の皆さんにも、ご観覧いただきました。柏陽中学校合唱部の皆様、感性豊かな素敵な歌声を表現していただき、ありがとうございました。

市議会、議会運営委員会では、ご出演していただける本市にゆかりのある方を募集しています。

詳細は、TEL.33-3131（内線3211）まで、ご連絡ください。



大切に保存して、安心。

2025年 11月

- 21 ● 議会だより編集会議
- 26 ● 議会運営委員会（第4回定例会議案取扱）
- 27 ● 第4回定例会招集日（議案審議等）

2025年 12月

- 2 ● 議場コンサート
- 4 ● 議員協議会
- 2～5 ● 一般質問
- 5 ● 議会運営委員会（意見案調整）
- 8 ● 総務文教常任委員会
- 9 ● 厚生消防常任委員会
- 10 ● 経済建設常任委員会
- 11 ● 基地特別委員会、議会改革特別委員会
- 12 ● 恵庭市議会ハラスメント根絶特別委員会、総合計画特別委員会、議会広報特別委員会
- 15 ● 議会運営委員会（第4回定例会議案取扱）
- 16 ● 第4回定例会最終日（審査報告、議案審議）、恵庭市議会ハラスメント根絶特別委員会研修会
- 19 ● 会派交渉会
- 25 ● 議会運営委員会（第5回臨時会議案取扱）、第5回臨時会、議員協議会

2026年 1月

- 13 ● 恵庭市議会ハラスメント根絶特別委員会、議会だより編集会議
- 14～16 ● 総務文教常任委員会行政視察（大阪府富田林市、大阪府柏原市、兵庫県加古川市）
- 15 ● 静岡県島田市議会行政視察来恵
- 19～21 ● 経済建設常任委員会行政視察（佐賀県佐賀市、佐賀県鳥栖市、福岡県筑後市）
- 23 ● 会派交渉会
- 26 ● 厚生消防常任委員会
- 27 ● 経済建設常任委員会
- 28 ● 総務文教常任委員会

令和8年第1回定例会日程（予定）

月 日	主な議会日程	場 所	月 日	主な議会日程	場 所
2月19日(木)	定例会招集日（議案審議等）	本会議場	3月16日(月)	経済建設常任委員会	委員会室
2月25日(水)～ 3月2日(月)	一般質問	本会議場	3月17日(火)	特別委員会	委員会室
3月4日(水)～ 6日(金)	予算審査特別委員会 （個別質疑）	委員会室	3月18日(水)・ 19日(木)・23日(月)	予算審査特別委員会 （代表質問・採決）	本会議場
3月11日(水)	総務文教常任委員会	委員会室	3月23日(月)	議会運営委員会（議案審議等）	委員会室
3月12日(木)	厚生消防常任委員会	委員会室	3月24日(火)	定例会最終日（議案審議等）	本会議場
3月13日(金)	特別委員会	委員会室	上記の日程は令和8年2月1日現在の予定です。一部変更になることが ありますので議会事務局（TEL.33-3131 内線3211）までご確認ください。		

編集後記

昨年12月16日に令和7年第4回定例会が閉会しました。

今回の定例会では、第6期恵庭市総合計画基本構想が全会一致で可決されました。令和8年度からの10年間で市民と行政とが協働、連携してまちづくりを推進するための共通の指針となります。「未来をひらく つながり広がる 文化創造都市」を推進するために、私たち市議会も尽力してまいります。

また、今回は恵庭市議会の定例会以外の様々な取り組みについても特集ページとして掲載しました。11月に参加した柏陽中学校の総合学習では、日ハムファーム施設や大型商業施設の誘致など、もっと多くの人々が恵庭を訪れるにはどうすれば良いのかという子ども達の素直な想いを聞くことができ、もっと頑張らなければいけないなど改めて感じたところでした。

これからの恵庭市にとって、令和8年は非常に重要な1年になると感じています。しっかりと議論を行い、その結果を市民の皆様に分かりやすくお伝えできるように取り組んでまいります。

（宮 利 徳）
市議会だより編集委員会